

<11月>

皆さんこんにちは。韓国からの研修生ハン・ヒョングンです。

掛川に来てから今まで、掛川城や神社など日本の伝統文化が見られる場所にいろいろと行ってみました。日本はどこの街に行ってもお城などの現存する歴史文化施設が多いと思います。

でも韓国はそうではないんです。もちろん昔はたくさんあったようですが、小国家ゆえ侵略を受けたり戦争を繰り返したりするうちに、ほとんどは消えてなくなってしまったのです。だからでしょうか、しっかりと保存がなされている日本の伝統文化を見ると、とてもうらやましく感じます。

また、10月には掛川祭に市の職員の方と一緒に参加することができました！多くの人に参加し、一緒になって楽しむ様子を見て、いろいろなことを感じました。

実は、韓国人にとって日本人は「個人主義」という印象が強いのです。周囲と合わせるよりも私生活を重視するとでも言いましょうか。日本に限らず、ある国の生活を外国人が見たら、文化的特性などが違うな、と感じるかもしれませんね。でも、私が掛川に来てみてそれは少し違うのかな、と思いました。

何て言うんですかね、日本人の協働意識が大変強いと感じました。個人より周りの地域、まち、国など、集団をより優先して考えるように見えます。このような日本人の特徴が、日本という国をしっかりとした国に押し上げた原動力なのではと思います。

韓国は、ずいぶん昔から「宴」文化があります。一緒にご飯を食べたり、お酒を飲んだり、歌ったり踊ったり…結婚式やお葬式はもちろん、子どもが生まれて100日目を祝う100日祭、1歳になったら石祭り、他にも還暦、七旬（≡古希）など、年齢にまつわる宴が多いです。とにかく記念日や特別なことがあれば「宴」なのです。

ですから、韓国人は面白い民族だ、という話もあります。でも、今は昔と違い、簡単に行うことが増えてきました。世知辛い世の中、集まって宴というのがなかなか難しくもあり、集団より個人という流れになっているのかもしれない。

日韓だけではなく、他の国でもまず集団を意識するようになればいいのにな、と思います。次世代がよい環境で暮らせるよう、すべての国が協力していくべき時が来ているのではないか、そう思えてなりません。

<12月>

皆さんこんにちは。韓国からの研修生ハン・ヒョングンです。

2018年を締めくくる冬、そして12月が来ました。名残惜しい部分も多い1年でしたが、しっかりと締めくくって新年を迎えなければ、ですよね。私にとっては初めての外国生活となった1年で、いっそうやり残した…名残惜しい…という気持ちになります。3ヶ月後には帰らなきゃと思うと、残りの時間をもっと大事にしたいと思います。

掛川の冬はそんなに寒くなく、雪を見るのも大変だとは聞いてい

ましたが、まさにそのとおり、私にとっては冬ではないみたいです。桜が咲いている木を見かけますし、コスモスも見かけました。

あっ、もちろん風が吹く日はちょっと寒いですよ。でも韓国に比べれば秋みたいなものです。雨の降る日も少なく、すっきりとした空を見上げる日が続きます。またここに旅行にでも来るときは、冬がいいですね。

今月の研修部署は危機管理課で、さっそく防災訓練の様子を見ることができました。韓国で危機管理に関する仕事を担当したことがあるので、日韓を比較しながら興味深い研修ができました。

朝早く市役所に設置された災害対策本部の運営訓練と地域や学校の現場訓練に参加することができました。日本は地震や津波、台風等の大きな自然災害が毎年のように多く発生します。普段からの備えがないと、命に関わる多くの被害をもたらし、大混乱に陥ってしまうのだと思います。

訓練を見ながら感じたのは、やっぱり日本は体系的な備えがしっかりしているな、ということでした。実際、こうしてさまざまな訓練を実施していますし、防災・救護物品も準備されています。この後で韓国の防災訓練について話すのは、少し恥ずかしくもあります。

韓国は、自然災害のほとんどない国です。最近、一部地域で地震が起きたため、多少は地震に対する警戒心が強くなりましたが、まだまだ自分で自分の身を守る努力が足りていないようです。ほとんどの人は生きている間に大きな災害に遭ったこともなく、これから

もまさか自分が、と思っているからでしょう。

韓国も毎年防災訓練を行ってはいます。でも、形式的な訓練ばかりで地域住民の参加もほとんどありません。今は地球温暖化など環境の変化による自然災害の危険性も、だんだんと高くなっています。どの国も例外ではなく、地球村のすべての国と人々が一日も早く備えをしておかなければいけない時です。